



報告書

京写レポート

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

株式会社 京写

証券コード 6837

(単位：千円)

期 別 科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
	金 額	金 額
売上高	15,161,174	17,304,845
売上原価	12,837,299	14,434,221
売上総利益	2,323,875	2,870,623
販売費及び一般管理費	2,166,198	2,124,281
営業利益	157,676	746,342
営業外収益	457,597	381,142
営業外費用	156,067	236,298
経常利益	459,206	891,186
特別利益	399	22,299
特別損失	115,572	39,088
税金等調整前当期純利益	344,033	874,397
法人税、住民税及び事業税	153,718	186,694
法人税等調整額	17,749	214,296
少数株主利益	△3,298	13,582
当期純利益	175,864	459,823

(單位：千円)

科 目	期 別	当連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前連結会計年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		165,973	1,717,682
投資活動によるキャッシュ・フロー		△840,234	△274,956
財務活動によるキャッシュ・フロー		883,285	△836,715
現金及び現金同等物に係る換算差額		△179,357	△112,784
現金及び現金同等物の増減額		29,667	493,225
現金及び現金同等物の期首残高		2,105,393	1,612,167
現金及び現金同等物の期末残高		2,135,060	2,105,393

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等				少数株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	1,102,433	1,152,432	206,349	△273	2,460,940	10,458	△2,236	△10,547	△2,324	119,562	2,578,178
在外子会社の会計処理の 変更に伴う増減			△17,341		△17,341						△17,341
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△43,869		△43,869						△43,869
当期純利益			175,864		175,864						175,864
自己株式の取得				△32,309	△32,309						△32,309
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△22,974	2,236	△284,476	△305,215	△26,533	△331,749
連結会計年度中の変動額合計	—	—	131,994	△32,309	99,685	△22,974	2,236	△284,476	△305,215	△26,533	△232,063
平成21年3月31日残高	1,102,433	1,152,432	321,002	△32,582	2,543,284	△12,515	—	△295,024	△307,539	93,028	2,328,773

株式の状況（平成21年3月31日現在）

1. 主要な事業内容
当社は、プリント配線板の製造・販売を主要業務としております。
2. 従業員数 1,328名（連結）
 196名（単独）
3. 主な子会社（平成21年6月25日現在）

名 称		所 在 地
子会社	京写香港	中華人民共和国 香港特別行政区
	上海営業所	中華人民共和国 上海市
	京写広州	中華人民共和国 広東省 広州市
	京写ノースアメリカ	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンディエゴ市
	京写インドネシア	インドネシア共和国 プカシ県 リッポーチカラン市
	マレーシア事務所	マレーシア セランゴ州 ペタリנגジャヤ市
三和電子株式会社		岡山県津山市

株式の状況（平成21年3月31日現在）

発行可能株式総数	58,000,000株
発行済株式の総数	14,624,000株
株主数	1,290名
大株主	

株主名	持株数	出資比率
	株	%
合名会社児嶋	2,048,000	14.3
児嶋雄二	1,331,000	9.3
児嶋照子	606,000	4.2
京王取引先持株会	605,000	4.2
株式会社エヌピーシー	524,000	3.7
HSBC BANK PLC-CLIENTS NONTAXTREATY	421,000	2.9
日立化成工業株式会社	418,000	2.9
児嶋一登	408,000	2.8
児嶋淳平	290,000	2.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	260,000	1.8

(注) 当社は、自己株式301,750株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

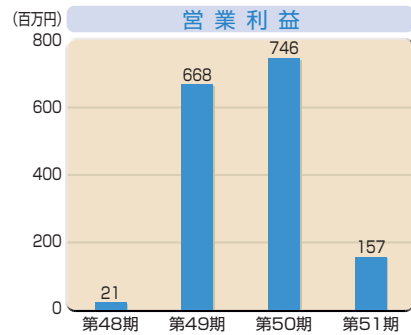
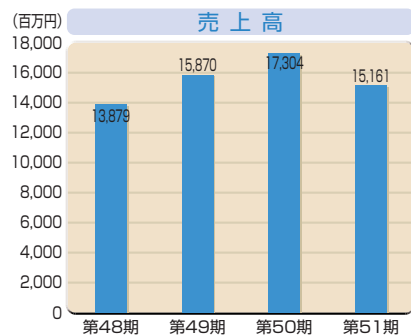
(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
(ホームページURL)
公告の方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.kyosha.co.jp/>) に掲載いたします。但し、電子公告
によってできることがでない事故その他やむを得ない
事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたし
ます。

上場証券取引所 株式会社ジャスダック証券取引所

【住所変更等のお申し出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。
本年6月25日に開催された第51回定時株主総会終了後の取締役会におきまして、私が代表取締役社長の任に当たることになりました。
当社は、本年2月14日をもちまして、創立50周年を迎えることができましたが、これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心から感謝申し上げます。
この記念すべき年に代表取締役社長を拝命することになり、身の引き締る思いです。今後も顧客満足を第一とした「地に足のついた経営」を進め、さらなる経営基盤の強化と、事業の発展に精励いたす所存です。何卒よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
さて、第51期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）における営業の概況ならびに決算の内容をご報告申し上げます。



1. 企業集団の事業の経過及びその成果

当連結会計年度における世界経済は、期初より米国発の金融市場の混乱と原油等原材料価格の高騰の影響により不透明感が広がっていましたが、特に下期に入り世界的な金融危機へと発展すると共に景気の減速傾向が一層強まり、自動車業界や家電業界を中心に企業業績の急激な悪化が表面化するなど、実体経済が後退局面に入ったことが鮮明となりました。

わが国経済におきましても、こうした世界経済の状況に加え、為替の変動も影響し、企業収益は大幅に減少し、雇用情勢も急速に悪化するなど、景気の後退が急激に進みました。

プリント配線板業界におきましても、これまで好調に推移してきた薄型テレビをはじめとする映像関連製品や自動車関連需要にも、景気後退の影響が色濃く反映され、下期以降は需要の減少に歯止めがかからず年明けからは一層厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、グローバル体制を活かした拡販や新製品の開発及び品質向上に努めると共に、原価・経費削減等の対応を鋭意進めるなど、経営基盤の強化に努めてまいりましたが、国内外共に景気後退の影響を受け、非常に厳しい状況が続きました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、15,161百万円（前期比12.4%減2,143百万円の減収）、利益面では売上減少に加え、原材料価格の高止まりが続く、営業利益は、157百万円（前期比78.9%減588百

万円の減益）、経常利益は為替差益や支払利息の減少による営業外収支の改善がありましたが、主に上記営業利益の状況により、459百万円（前期比48.5%減431百万円の減益）、当期純利益は、上記の要因に加え、グループ経営効率の改善を目的に連結子会社（1社）の清算を行い、これに伴う費用65百万円や投資有価証券の評価損24百万円を特別損失に計上したことなどから、175百万円（前期比61.8%減283百万円の減益）となりました。

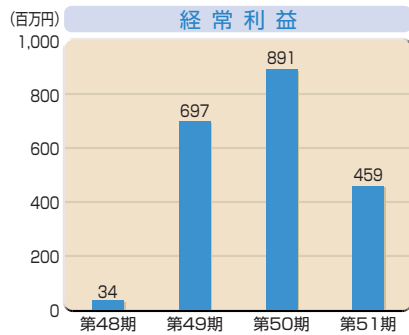
2. 企業集団の設備投資及び資金調達の状況

当連結会計年度中の設備投資の総額は465百万円であり、その主なものは次のとおりであります。
当連結会計年度中に完成した主要な設備
京写（九州工場） プレス棟
上記設備投資の資金は、自己資金及び借入金によっております。

3. 企業集団が対処すべき課題

「当社グループはグローバル市場において顧客満足を第一とし、『地に足のついた経営』を進め持続した成長を目指す」ことを基本とし、そのために以下を経営基本方針といたしております。

- ① すべての事業活動において「安全の確保、法令の遵守、環境保全」を最優先する。
- ② 顧客のニーズに応え、新技術、新工法の開発と品質向上にたゆまぬ努力を傾注する。



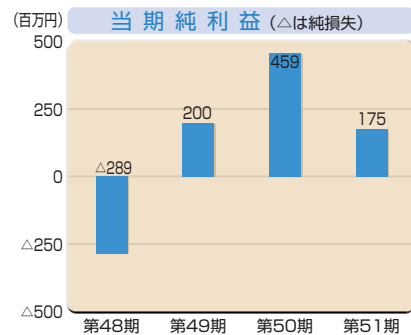
- ③ 選択と集中を進め、自社の強みを活かした分野に経営資源を集中する。

また、中長期的な会社の経営戦略として、片面・両面プリント配線板につきましては、コア事業として、低コスト生産、品質向上に一層注力し、新製品・新工法の開発も含め経営資源の重点配分を行います。また、より付加価値の高い分野につきましても、アライアンス活用等により、自らもその開発に参画し技術力の獲得と市場供給力の確保に努める所存であります。

今後につきましては、上記戦略を推進する上で、
① 技術開発と品質向上の充実・強化
② IT化推進を軸とした経営の一層の合理化
③ 海外拠点の拡充とグローバル経営管理の強化
④ グローバル経営を担う創造力豊かな人材の育成
⑤ 第2・第3の柱となる新たな事業の発掘と育成
⑥ コンプライアンスとリスク管理を柱としたCSR活動の推進と内部統制機能の強化
を重点課題といたしまして対処していく所存であります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年 6月 代表取締役社長 児嶋一登



●連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
	金 額	金 額
【資産の部】		
流動資産	6,075,305	6,401,376
現金及び預金	2,312,349	2,141,971
受取手形及び売掛金	2,454,512	2,635,840
たな卸資産	—	1,322,645
製品	317,069	—
仕掛品	166,432	—
原材料及び貯蔵品	586,464	—
繰延税金資産	9,369	221,994
その他	263,652	164,760
貸倒引当金	△34,544	△85,835
固定資産	4,197,341	3,890,035
有形固定資産	3,419,590	3,316,274
建物及び構築物	1,066,989	1,009,268
機械装置及び運搬具	1,599,927	1,694,502
土地	568,406	445,482
建設仮勘定	59,034	14,551
その他	125,232	152,469
無形固定資産	12,935	13,847
投資その他の資産	764,816	559,913
投資有価証券	103,463	97,088
繰延税金資産	319,515	146,004
その他	343,561	316,820
貸倒引当金	△1,723	—
資産合計	10,272,646	10,291,412

(単位：千円)

期 別 科 目	当連結会計年度 (平成21年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
	金 額	金 額
【負債の部】		
流動負債	5,953,778	6,189,191
支払手形及び買掛金	1,896,429	2,842,262
短期借入金	2,748,851	2,119,627
1年以内返済予定の長期借入金	791,105	709,202
リース債務	37,167	51,180
未払法人税等	44,346	68,125
賞与引当金	108,579	74,587
その他	327,300	324,206
固定負債	1,990,094	1,524,041
長期借入金	1,395,107	1,227,731
リース債務	39,357	63,254
繰延税金負債	13,179	6,885
退職給付引当金	50,683	35,718
役員退職慰労引当金	151,115	140,650
負ののれん	340,650	49,801
負債合計	7,943,873	7,713,233
【純資産の部】		
株主資本	2,543,284	2,460,940
資本金	1,102,433	1,102,433
資本剰余金	1,152,432	1,152,432
利益剰余金	321,002	206,349
自己株式	△32,582	△273
評価・換算差額等	△307,539	△2,324
その他有価証券評価差額金	△12,515	10,458
繰延ヘッジ損益	—	△2,236
為替換算調整勘定	△295,024	△10,547
少数株主持分	93,028	119,562
純資産合計	2,328,773	2,578,178
負債及び純資産合計	10,272,646	10,291,412